

## 日本薬学図書館協議会 創立 70 周年記念 研修会 開催要項

テーマ：「AI 時代の薬学教育と図書館：変革する情報環境と学び」

開催趣旨：近年、AI 技術の飛躍的な進化は、社会、特に教育と研究の現場に大きな変革をもたらしています。この変革期において、私たちは「どのように学び、教え、そして情報を活用していくべきか」という根本的な問いに直面しています。本研修会では、2 つの重要な視点から、AI 時代における薬学教育のあり方、そしてその中心を担う図書館の新たな役割について、参加者の皆様とともに考え、議論を深めることを目指します。

日時：2025 年 11 月 19 日(水)13:00～15:35

方法：ZOOM によるオンライン開催

主催：日本薬学図書館協議会 教育・研究委員会／薬学図書館の在り方研修会 WG

対象：薬学部・薬科大学図書館長、薬学部・薬科大学図書館関係者 薬学部以外の関係者も参加自由

参加費：無料

申込み URL: <https://jpla70thseminar.peatix.com/>

＊お申し込みを頂いた際に取得した個人情報、協議会の個人情報保護方針にて適切に保護・管理します。

参照：日本薬学図書館協議会 個人情報保護方針 <https://www.yakutokyo.jp/docs/privacypolicy.pdf>

申込み締め切り：2025 年 11 月 18 日(火)

内容：

13:00 開会の辞

司会 日本薬学図書館協議会 WG 担当理事 佐藤 雄己

ご挨拶 日本薬学図書館協議会 会長 望月 眞弓

13:15 講演 ① (質疑応答含む)

「新コアカリで求められる教育支援 ～図書館がサポートできる事例を通じて～」

演者：名城大学薬学部 医薬品情報学 教授 大津 史子

概要：2022 年度に改訂された薬学教育モデル・コアカリキュラムでは、「情報・科学技術を活かす能力」が新たな資質・能力として追加された。これは、現代の薬剤師に求められる能力として、データや技術を駆使して患者に個別最適な医療を提供することが求められていることを示唆している。大学図書館は単なる情報の保管場所ではなく、その学びを実践する場として、批判的思考力や情報倫理を育むための重要な役割を担うと考える。

14:15 休憩(5分)

14:20 講演 ② (質疑応答含む)

「生成 AI 時代の教育と図書館 -情報環境の変革と個別最適な学び-」

演者：山梨大学教育統括機構 教学 IR・DX 推進室 教授 坂田 信裕

概要：生成 AI の普及は、教育のあり方そのものに大きな影響を与えている。生成 AI の登場による情報検索や利用環境の変革、そして個別最適な学び方への移行について、現状と未来を探る。

15:30 閉会の辞

日本薬学図書館協議会 WG 担当理事 大津 史子

15:35 終了

連絡・問い合わせ先

日本薬学図書館協議会 教育・研究委員会／薬学図書館の在り方研修会 WG

e-mail: [library@hoshi.ac.jp](mailto:library@hoshi.ac.jp)